

・ ・ 過去3回の浸水被害の経験を教訓に ・ ・

「水害に強く、安心して暮らせるまち かせだ」を目指す！

都市下水路
～鹿児島県南さつま市～

加世田市街地では、過去の異常降雨による甚大な床上・床下浸水被害（浸水面積 142ha 浸水家屋 830戸）を踏まえ、浸水対策の強化を図るため、都市下水路事業を平成24年度に着手し、令和2年度までの事業期間9ヵ年、総事業費25億円をかけて、4ヵ所のポンプ場及び調整池が完成しました。

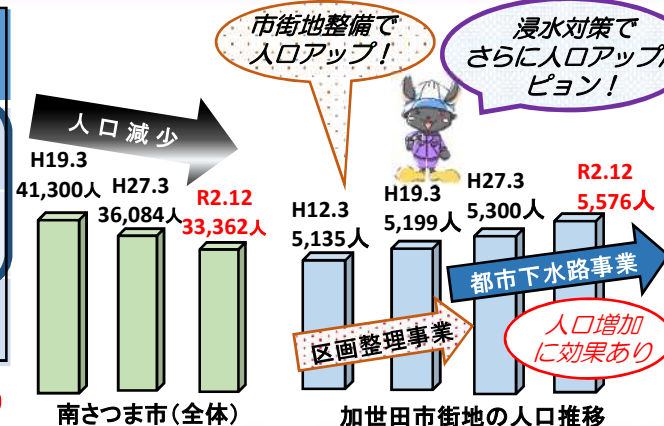
浸水被害状況（S58.6豪雨）（H5台風）



数字でみる浸水対策効果

事象	日最大降水量 (mm)	時間最大降水量 (mm)
S58.6 豪雨	285 史上3位	51
H5 台風	241 史上6位	68 史上7位
R1.7 豪雨	354 史上1位	57.3 史上8位

観測史上1位降水量でも
市街地内浸水被害ゼロ



浸水対策が喫緊の課題

対策効果は

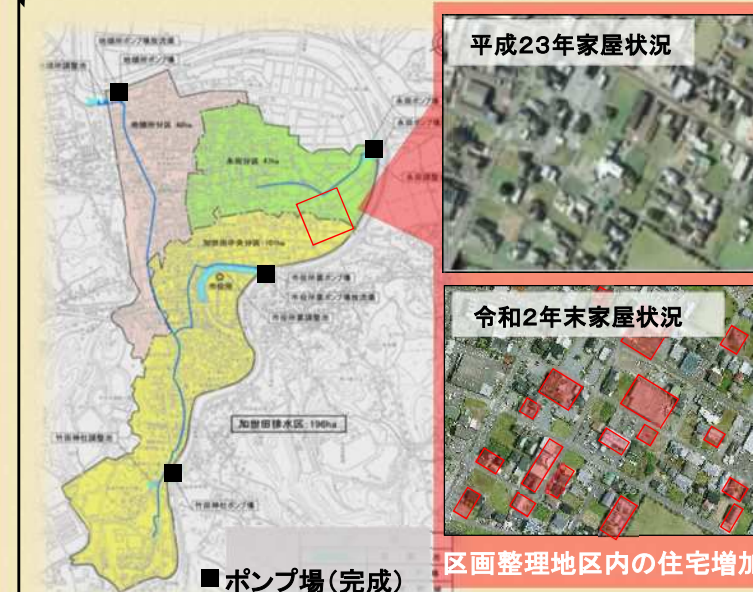
主な浸水対策

ポンプ場の整備（調整池併設）



ポンプ場が整備されたことで、異常降雨時の内水排除が円滑に行われ、また、調整池を併設することで、近年多発するゲリラ豪雨にも対応するものであり、市民生活の安全確保と市街地発展に寄与しています。

浸水不安が解消され、「安心して暮らせるまち」となった加世田市街地



今後の展望

南さつま市全体人口は減少傾向にあるが、加世田市街地内人口は増加しています。その理由としては、

- ①土地区画整理事業による市街地整備
- ②都市下水路事業による浸水対策

であり、さらに令和4年4月から「公共下水道」も供用開始となり、水害に強く、生活環境のよい、安心して住めるまちの発展が期待されます。